

# 春野菜の生産（生育）・出荷状況について

（全国農業協同組合連合会）

1. 平成23年産春キャベツ(4月～6月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年2月現在

	当初計画(22年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量						
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体での出荷見通し
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農千葉 県本部	1,000	100%	37,950	107%	36,000	102%	・春系: 10月中～12月上	・春系: 11月下～3月上	・春系: 3月下～6月上	春系は、平年並みに4月上旬から出荷数量まとり始める。出荷本格化は、平年並みの5月中旬～6月中旬。	作付面積が増加傾向となるため、平年をやや上回る出荷の見込み。
全農神奈川 県本部	744	102%	38,260	111%	34,500	100%	・春系: 10月中～	・春系: 11月中～2月中	・春系: 3月中～6月上	春系は、平年並みに3月中旬から出荷開始。平年並みの気候であれば、本格出荷の時期は4月下旬～5月上旬となる見込み。	全体量としてはほぼ前年並みの見通し。
愛知経済連	528	106%	24,200	103%	22,100	102%	・冬系: 8月下～ ・春系: 9月下～10月末 ・夏系: 10月下～1月上	・冬系: 9月下 ・春系: 10月下～12月上 ・夏系: 11月下～2月下	・冬系: 3月～4月 ・春系: 3月下～4月下 ・夏系: 5月上～6月下	冬および春系については、低温・干ばつの影響を受けたが、その後の天候で、回復の可能性もある。ただし、今後の天候により、作型は前後する。	特に5～6月の出荷量が増加する見込み。
その他	1,632	107%	37,334	115%							
対象県 共販計	3,904	104%	137,744	110%							

○ コメント

作付面積 (2月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農千葉 :前年比102%</li> <li>・全農神奈川:前年比102%</li> <li>・愛知経済連:前年比106%。夏系(5～6月出荷分)が大きく増えている。</li> </ul>
生育状況	2月上旬までの低温、干ばつによりやや遅れて推移していたが、その後の天候は安定していたため、回復傾向にある。最終的には、さらに今後の気候を注視する必要がある。

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	23年見通し注1	6,000	16,000	14,000	36,000
	前年比	227%	103%	82%	102%
	3ヶ年平均注2比	107%	102%	97%	101%
全農神奈川県本部	23年見通し注1	18,500	13,000	3,000	34,500
	前年比	136%	74%	91%	100%
	3ヶ年平均注2比	107%	93%	108%	101%
愛知経済連	23年見通し注1	12,500	5,600	4,000	22,100
	前年比	99%	104%	113%	102%
	3ヶ年平均注2比	99%	114%	137%	108%
計 (上記3県)	23年見通し注1	37,000	34,600	21,000	92,600
	前年比	128%	90%	88%	101%
	3年ヶ年平均注2比	104%	100%	105%	103%

注1: 2月時点における、供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月とりまとめ)

注2: 20年～22年の実績より算出。

## ○コメント

出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の天候にもよるが、主産3県については2月上旬までの低温、干ばつの影響は、その後の天候回復により解消された見込み。</li> <li>・主産3県では、出荷量は面積の増加を反映し、直近3ヶ年比で103%を見込んでいる。</li> <li>特に愛知の5～6月の出荷量が増加している。</li> </ul>
-------	---

2. 平成23年産たまねぎ(4月～10月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年2月現在

	当初計画(22年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量						
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体での出荷見通し
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
ホクレン	4,785	99%	196,348	102%	161,720	105%	・極早生: 2月 ・早生: 2月 ・中生: 2月 ・晩生: 2月	・極早生: 5月上～中 ・早生: 5月上～中 ・中生: 5月上～中 ・晩生: 5月上～中	・極早生: 8月 ・早生: 9～11月 ・中生: 11～4月 ・晩生: 11～4月	現在、播種・苗立て作業中のため、今後の天候による。	現在、播種・苗立て作業中のため、今後の天候による。
JAさが	2,068	103%	91,279	129%	87,697	124%	・極早生: 9月中～ ・早生: 9月中～ ・中晩生: 9月下～	・極早生: 10月下～11月上 ・中生: 11月中～12月上 ・中晩生: 11月下～1月上	・極早生: 3月下～4月中 ・早生(マルチ・露地): 4月中～5月下 ・中晩生: 6月上～	平年並みに3月下旬からスタートし、4月下旬から5月中旬にかけて本格出荷となる。	出荷量は平年並み～やや多めを見込む。
全農兵庫 県本部	1,380	96%	48,160	115%	48,160	115%	・早生: 9月下～ ・中生: 9月下～ ・晩生: 9月下～	・早生: 11月上～中 ・中生: 11月中～12月下 ・晩生: 11月中～12月下	・早生: 5月上～6月上 ・中生: 6月上～7月下 ・晩生: 8月上～3月上	5月からスタートし、本格化は6月中旬以降となる。	これまでの生育は順調で、出荷のスタート・本格化は今後の天候次第。
その他	2,157	101%	87,260	115%							
対象県 共販計	10,390	100%	423,047	111%							

○ コメント

作付面積 (2月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホクレン :前年比101%</li> <li>・JAさが :前年比108%。21・22年産が好単価だったため、増加を見込む。</li> <li>・全農兵庫:前年比103%</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホクレン :現在、播種・苗立て作業中の段階。</li> <li>・JAさが :12月以降の天候不順で定植遅れが発生したため、平年と比較すると生育はやや遅れ気味の状況にある。</li> <li>・全農兵庫:12月の集中的降雨、12月末～1月末の低温・乾燥による、生育停滞も2月以降の適度な降雨、気温の上昇で回復傾向。</li> </ul>

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
ホクレン	23年見通し注1	19,500	2,400	200	120	23,500	51,000	65,000	161,720
	前年比	68%	71%	59%	55%	106%	113%	121%	105%
	3ヶ年平均注2比	67%	75%	95%	97%	136%	106%	106%	101%
JAさが	23年見通し注1	19,410	24,875	18,050	13,515	10,677	1,070	100	87,697
	前年比	169%	120%	105%	115%	124%	163%	476%	124%
	3ヶ年平均注2比	130%	109%	108%	109%	109%	68%	55%	112%
JA全農兵庫	23年見通し注1	220	7,500	7,800	15,380	13,510	2,600	1,150	48,160
	前年比	96%	126%	137%	130%	118%	46%	105%	115%
	3ヶ年平均注2比	99%	109%	124%	121%	112%	57%	105%	110%
計 (上記3県)	23年見通し注1	39,130	34,775	26,050	29,015	47,687	54,670	66,250	297,577
	前年比	97%	116%	112%	122%	113%	106%	121%	112%
	3ヶ年平均注2比	89%	105%	112%	115%	122%	100%	106%	106%

注1:2月時点における、供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月とりまとめ)

注2:20年～22年の実績より算出。

## ○ コメント

出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 :ホクレン貯蔵物のシェア高い時期のため、出回り量は平年比少なめを見込む。</li> <li>・5～8月 :作付けの増加したJAさが、全農兵庫のシェアが高い時期のため、平年比で多めとなる見込み。</li> <li>・9～10月:ホクレンのシェアが高いため、現時点では平年並みの出荷量を見込む。</li> </ul>
-------	---

3. 平成23年産春だいこん(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年2月現在

	当初計画(22年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体での出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農千葉 県本部	705	99%	29,000	98%	28,000	94%	・春系: 11月上～12月上	—	・春系: 3月～5月	春系は、4月上旬から出荷本格化する。	期間トータルの出荷量見込みは、前年比94%、直近3ヶ年平均比97%。
全農長崎 県本部	136	95%	10,060	92%	11,084	101%	11月上～3月上	—	3月～5月	平年並みに3月上旬から出荷開始。出荷本格化の時期は平年比やや遅く3月末ごろとなる見込み。	期間トータルの出荷量見込みは、前年比101%、直近3ヶ年平均比101%。
その他	559	100%	25,509	104%							
対象県 共販計	1,400	99%	64,569	99%							

○ コメント

作付面積 (2月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農千葉:前年比100%。</li> <li>・全農長崎:前年比110%。</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農千葉:干ばつ等の影響はややあるものの、2月に入ってから降雨や気温の上昇から回復していくものと予想される。</li> <li>・全農長崎:年明けからの低温により、生育は遅れている。3月中旬までの播種を計画しているが、天候次第では作業に遅れが生じる可能性もある。</li> </ul>

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	23年見通し注1	15,000	10,500	2,500	28,000
	前年比	105%	88%	73%	94%
	3ヶ年平均注2比	98%	96%	96%	97%
全農長崎県本部	23年見通し注1	6,130	4,954	0	11,084
	前年比	127%	116%	0%	101%
	3ヶ年平均注2比	115%	112%	0%	101%
計 (上記2県)	23年見通し注1	21,130	15,454	2,500	39,084
	前年比	110%	95%	47%	96%
	3ヶ年平均注2比	103%	101%	66%	98%

注1:2月時点における、供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月とりまとめ)

注2:20年～22年の実績より算出。

## ○ コメント

出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5月:主産2県の出荷量は、平年比で微増を見込む。</li> <li>・6月 :青森県産のシェアが高くなる時期、全農青森はほぼ前年並みの作付けを見込んでいる。</li> </ul>
-------	---

4. 平成23年産春夏にんじん(4月～7月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年2月現在

	当初計画(22年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量						
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体での出荷見通し
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農徳島県本部	980	100%	35,950	95%	37,360	101%	トンネル: 10月中～1月中	—	トンネル: 3月上～6月下	3月上旬より出荷が開始される。ピークは4月。	期間トータルの出荷量見込みは、前年比で101%、直近3ヶ年平均比で102%を見込む。
全農千葉県本部	490	98%	14,800	119%	12,850	104%	春夏: 12月下～2月下	—	春夏: 4月下～7月上	平年並みに4月下旬から出荷量が始まり、5月下旬～6月下旬に本格出荷となる。	期間トータルの出荷量見込みは、前年比で104%、直近3ヶ年平均比で98%を見込む。
その他	718	100%	24,931	108%							
対象県共販計	2,188	99%	75,681	103%							

○ コメント

作付面積 (2月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全農徳島: 前年比102%。</li> <li>全農千葉: 前年比99%。都市化の影響で一部地域で微減。</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>全農千葉: 干ばつの影響で播種作業にやや遅れが出たものの、2月以降の天候回復により、遅れを取り戻すと予想される。</li> <li>全農徳島: 低温・干ばつによりやや遅れ気味で推移している。</li> </ul>



## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	計
全農徳島県本部	23年見通し注1	20,000	16,000	1,360	0	37,360
	前年比	108%	94%	91%	0%	101%
	3ヶ年平均注2比	102%	102%	99%	0%	102%
全農千葉県本部	23年見通し注1	350	3,500	7,200	1,800	12,850
	前年比	51%	138%	99%	93%	104%
	3ヶ年平均注2比	78%	111%	98%	85%	98%
計 (上記2県)	23年見通し注1	20,350	19,500	8,560	1,800	50,210
	前年比	106%	99%	98%	92%	101%
	3ヶ年平均注2比	101%	103%	98%	85%	101%

注1:2月時点における、供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月とりまとめ)

注2:20年～22年の実績より算出。

## ○ コメント

出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5月:徳島のシェア高い時期であり、出荷量は直近3ヶ年比で微増を見込む。</li> <li>・6月 :千葉のシェア高い時期であり、全農千葉は出荷量は直近3ヶ年比で微減を見込んでいる。</li> <li>・7月 :青森のシェア高い時期であり、現時点では平年並みの作付け面積を見込んでいる。</li> </ul>
-------	---

5. 平成23年産春はくさい(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年2月現在

	当初計画(22年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体での出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城	140	100%	14,750	110%	13,500	100%	・早生: 11月中～1月中 ・中生: 1月上～2月下 ・晩生: 2月上～3月中	・早生: 12月下～2月下 ・中生: 2月上～3月下 ・晩生: 3月上～4月中	・早生: 3月上～4月中 ・中生: 4月中～5月下 ・晩生: 5月下～6月中	3月中旬ごろから開始し、5月上旬前後からピークとなる。	全体的には面積の増加や生育が遅れたことによるずれ込みなどで、潤沢な出荷を見込む。
全農長野	330	100%	15,960	108%	17,300	121%	2月中～4月中	3月下～5月上	5月下～6月下	圃場準備、定植作業はこれから。 平年どおりの天候であれば、5月下旬から開始し、6月中旬には本格化する。	今のところ概ね平年並みを見込むが、前年の平年どおりの天候であれば、5月下旬から開始し、6月中旬には本格化することもある。
その他	160	100%	4,125	103%							
対象県 共販計	630	100%	34,835	108%							

○ コメント

作付面積 (2月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農茨城: 前年比105%。昨年の高値を受け、面積が増加する見込み。作型別では、極早生・早生の作付けが増加し、晩生は減少傾向。</li> <li>・全農長野: 前年比105%。県下全体としては前年並み。</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農茨城: 2月上旬までの降水量少なく、定植後の根張りが悪い。夜温が低く、生育は例年より1週間程度遅れている。</li> <li>・全農長野: 作期・作柄は定植後の気象により変動する。特に低温による遅れ等で大幅に変化する可能性がある。</li> </ul>

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農茨城県本部	23年見通し注1	5,000	6,500	2,000	13,500
	前年比	106%	98%	96%	100%
	3ヶ年平均注2比	100%	102%	109%	102%
全農長野県本部	23年見通し注1	0	1,300	16,000	17,300
	前年比	—	217%	117%	121%
	3ヶ年平均注2比	—	107%	107%	107%
計 (上記2県)	23年見通し注1	5,000	7,800	18,000	30,800
	前年比	106%	108%	114%	111%
	3ヶ年平均注2比	100%	103%	107%	105%

注1:2月時点における、供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月とりまとめ)

注2:20年～22年の実績より算出。

## ○ コメント

出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5月:茨城のシェア高い時期であり、全農茨城では平年並みの出荷量を見込んでいる</li> <li>・6月 :長野のシェアが高い時期であり、全農長野では低温による遅れや一部抽苔発生し減産となった前年を上回る見通し(21年並みを予想)。</li> </ul>
-------	--

6. 平成23年産春レタス(4月～5月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年2月現在

	当初計画(22年9月作成)				2月現在の見通し		生育ステージ	今年の出荷見通し			
	面積		出荷量		出荷量			播種時期	定植時期	出荷時期	
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農茨城県本部	640	100%	15,170	110%	14,100	102%	・3～4月どり: 10月下旬～12月 下 ・5月どり: 1月上旬～2月中	・3～4月どり: 11月下旬～1月下 下 ・5月どり: 2月中～3月下	・3～4月どり: 3月上旬～4月 下 ・5月どり: 5月上旬～5月下	平年並みに2月中旬から 出荷開始となり、3月中旬 には本格出荷となる見通 し。	概ね平年並みの出荷を見 込む。
全農長野県本部	500	102%	11,783	137%	11,350	138%	1月中～3月下	2月下旬～4月中	4月中～5月下	平年並であれば、4月中 旬から出荷開始となり、5 月上旬から出荷本格とな る。	天候が順調に推移すれ ば、概ね平年並みの出荷 となる見込み。
全農兵庫県本部	498	109%	10,450	121%	10,116	117%	・トンネル: 12月中～1月中 ・露地: 1月中～2月中	・トンネル: 1月中～3月上 ・露地: 3月上～4月上	・トンネル: 4月上～5月上 ・露地: 5月上～5月下	平年並みの時期に、出荷 開始、本格出荷となる見 込み。	本年は気温により状況は 変わるが、今のところ例年 通りと予測する。
その他	625	106%	12,414	122%							
対象県 共販計	2,263	104%	49,817	121%							

○ コメント

作付面積 (2月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農茨城: 前年並み。結球レタスが微減し、非結球レタスにシフトしている。</li> <li>・全農長野: 前年比105%</li> <li>・全農兵庫: 前年並み</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農茨城: 年末～1月の低温、干ばつの影響は解消され、順調に生育している。</li> <li>・全農長野: 圃場準備、定植作業はこれから。今後の天候により変動する。</li> <li>・全農兵庫: 低温・干ばつにより1作目の収穫が、少し遅れ気味であるが、平年並みと予測する。</li> </ul>

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	計
全農茨城県本部	23年見通し注1	10,100	4,000	14,100
	前年比	122%	72%	102%
	3ヶ年平均注2比	109%	83%	100%
全農長野県本部	23年見通し注1	350	11,000	11,350
	前年比	173%	137%	138%
	3ヶ年平均注2比	94%	98%	98%
全農兵庫県本部	23年見通し注1	5951	4,165	10,116
	前年比	118%	116%	117%
	3ヶ年平均注2比	108%	115%	111%
計 (上記3県)	23年見通し注1	16,401	19,165	35,566
	前年比	121%	111%	116%
	3ヶ年平均注2比	108%	97%	102%

注1:2月時点における、供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月とりまとめ)

注2:20年~22年の実績より算出。

## ○ コメント

出荷見通し	冬の低温、干ばつは概ね解消されており、今後の天候推移を平年並みと仮定すれば、平年よりも大幅に出荷量が増減することは考えにくい。
-------	---

